



園だより かけはし

キッドワールドこども園

令和7年11月1日

朝晩の冷え込みが厳しくなり、肌に触れる風もだんだんと冷たくなってきました。この時期は、寒暖差も大きく体調を崩しやすくなるため、子どもたちには手洗いやうがいを意識して行い習慣づけていきたいと思います。また、ご家庭でも気温や体調に合わせ衣服の調節や十分な休息を心掛けるようお願いいたします。

先日の0・1・2歳児クラスの運動会では、天候に恵まれ、保護者の皆様も平日にも関わらず、沢山の方にご参加していただきありがとうございました。未満児クラスの運動会では、一人一人の発達を感じられるよう、遊びの計画を立ててきました。保護者の皆様にも子どもの成長した姿をお伝えてきたのではないかと思います。

また、11月1日(土)にはサイクルショップコダマ大洲アリーナで3・4・5歳児の運動会が行われます。目標に向かって取り組む姿、友だちと協力する姿など、また未満児クラスでは見られない姿を見て頂けますので、是非ご都合のつく方はお越しください。



行事予定

日	曜日	園児に関すること
1	土	運動会(3・4・5歳児)
4	火	身体計測(2・5歳児)
5	水	身体計測(3・4歳児)
6	木	身体計測(1歳児さくらんぼA組)
7	金	身体計測(1歳児さくらんぼB組)
11	火	避難訓練(火災・通報訓練)
12	水	歯科検診
14	金	環境整備産業見学(5歳児)
20	木	健康診断、身体計測(0歳児)
21	金	弁当日
25	火	避難訓練(火災)
27	木	誕生会
28	金	保育参観(5歳児)

環境整備産業(5歳児)

11月14日(金)5歳児が環境整備産業へ見学に行きます。

環境整備産業(本社工場)では、廃棄物(ダンボール、雑誌、ペットボトル、アルミ缶、スチール缶)などのリサイクルを行っています。

5歳児が工場見学を行うことでリサイクルに興味や関心が持てるようにしていきたいと思います。



※環境整備産業 QRコード

お知らせ・お願い

- ※ 11月のお弁当日は、21日(金)です。子どもさんが楽しみにしているので、忘れないようお願いいたします。
- ※ 11月の保育料の納入期間は、25日(火)・26日(水)・27日(木)の3日間です。
(期限内に納入できない場合は、教頭の奥下までご相談ください。)

子どもが見る大人の世界と大人の受け止め

キッドワールドこども園 総合園長 牧野 桂一

前は、「子どもが見る大人の世界」についていろいろ考えてきましたが、今回はそれを一歩進めてその「子どもたちが望む大人の世界」について考えてみたいと思います。

① 子どもをそっとしておいてあげる大人

子どもたちは、大人に対していろいろなことを願っているように見えますが、究極はあれこれ指示されたり命令されたりするのではなく、自分を信じて「そっとしておいてくれる」ことを望んでいます。そういえば中国の老子の教えの究極も「無為自然」といって何もしないことが大切と言います。子どもたちはみんな自分で育っていく力を自分の中に持っているということなのです。しかしこのそっと見守るということが子育てでは一番難しいといってもいいと思います。

② 子どもの小さな仕草にも反応してあげる

子どものしていることには、どんな小さな仕草にもそれなりの意味があるといえます。その中には、周りの大人に気づいて欲しいと思うものもたくさんあります。子どもの小さな変化、小さな仕草に気づいて声を掛けてあげると子どもは自分が認められていることを実感し、自分のことが好きになり自尊感情が高まって自信のある子どもに育っていきます。

③ 子どもをじっと見つめてあげる

子どもは自分のことを周りの人にいっぱい見てもらいたいと思っています。これはしていることだけではなく、自分自身を見て貰いたいと思っているといった方がいいかも知れません。きれいな服を着ても、新しい靴を履いても、私たちが気付かなければ必ずそれを私たちに見せに来ます。何かができるようになると私たちに「見て！見て！」「見て！見て！」と言います。私たちはその事実をしっかりと確認して「きれいなスカートだね」「新しい靴、ピカピカ光っているね」「三輪車上手に乗れるようになったね」「早く走れるようになったね」など一つ一つ確認していくと、子どもはこの上ないような笑顔で喜んでくれます。「見つめ」ということは「認める」ことに繋がります。しっかり見つめられると、子どもは自尊感情を高めていけるのです。

④ 静かに待ってあげる

子どもたちに「お母さんに言われる言葉で一番嫌な言葉は何ですか」と聞いたことがあるのですが、その時、ほとんどの子どもが「早く、早く」という言葉が嫌だと言いました。そのことを子どもたちに詳しく聞いてみると、まず朝寝しているときに「早く起きなさい」といわれると言います。起きると今度は「早く顔を洗いなさい」といわれます。顔を洗い終わるとすぐさま「早く御飯を食べなさい」といわれます。御飯を食べ終わると待ち構えていて「早く歯を磨きなさい」とたたみ込まれます。歯を磨き終わると、今度は「早く着替えをしなさい」が続いていきます。

「早く、早く」という言葉が一番嫌だ」という子どもの気持ちがとてもよく分かります。子どもの成長についてはよく「慌てない、焦らない、ゆっくり落ち着いて待って上げる」ことが大切だと言われますが、このおかあさんとの会話を見ると子どもたちの「ぼく、わたしを信じてゆっくり待って欲しい」という言葉が私たちの胸に突き刺さってくるようです。

⑤ 子どもの話をよく聞いてあげる大人

子どもたちはみんなその胸の中には、周りの大人に言いたい自分の思いを沢山もっています。子どもたちはそれを大好きな周りの大人に聞いてもらいたいのです。「あんな、あんな」「きいて、きいて」と周りの大人に訴えてくるのは、そのような思いが胸に溢れているからなのです。子どもはこの自分の話したいことを聞いてくれるおとなが大好きになるのです。

⑥ 子どもの良さを見付けてあげる

子どもたちは基本的に周りの大人に褒められて育っていきます。お母さんの優しい笑顔で褒められると子どもたちの脳の中にはドーパミンがでてとても良い気持ちになり、やる気が出てきます。この時脳は赤く熱くなって成長するのです。逆に「ダメ」という否定されると脳は冷えて青くなり成長を止めてしまいます。

したがって私たちは、どんな小さなことでも子どもたちの良いところをたくさん見つけて、それを褒めてあげ子どもの意欲を引き出していくことが大切なのです。逆にネガティブ面ばかりを見つけて叱ることは止めなければなりません。この時、褒めるということとおだてるということはしっかりと区別して、必ず子どもの事実に基づいて子どもの良い所を褒めることが大切です。

今回は紙面の都合で紹介しようと思っていた項目を全て紹介することはできませんでしたので、次回は以下のことについて詳しく説明をしていきたいと思います。

- ⑦共感する
- ⑧子どものしていることに驚きを持つ
- ⑨ポジティブな言葉かけをする
- ⑩よく褒めて励ます
- ⑪一人一人の違いに応じた対応をする
- ⑫約束を守る
- ⑬あるがままを受け入れる
- ⑭明るくてほほ笑みの多い保育者
- ⑮ユーモアに富んだ保育者
- ⑯子どもの名前を呼んであげる
- ⑰人として美しく



<エッセイについて>

今回、①～⑥までのポイントについて詳しく説明がありました。特に④に書いてある「早く」という言葉は様々な場面で使うことがあるのではないかと思います。そこで、「早く」という言葉にスポットを当てて考えてみたいと思います。

子どもが早くと言われてもすぐに行動に出せないのは、大人が感じる時間の流れと子どもが感じている時間の流れに違いがあるのではないかと考えました。そこで、色々調べてみると、19世紀のフランスの哲学者ポール・ジャネが発案し、甥の心理学者ピエール・ジャネの著書において紹介された<ジャネーの法則>というものがありません。これは、「主観的に記憶される年月の長さは年少者にはより長く、年長者にはより短く感じられる」という現象を心理学的に説明したものです。

例えば、50歳の人間にとって1年の長さは人生の50分の1ほどですが、5歳の人間にとっては5分の1に相当します。逆に50歳の人にとっての10年間は、5歳の人にとっての1年間にあたり、5歳の人にとっての1日は、50歳の人にとっての10日にあたることとなります。

このことから、大人が感じる時間の流れと子どもが感じている時間の流れに違いがあり、大人が早くしてほしいと感じていることも子どもの時間軸では、「早くしているのにそんなに急がせないで」と感じているのかもしれない。

これからお子さんに関わる際は、子どもの時間軸で気持ちを汲みとってあげることで「早く」という言葉を使わなくなっていくのではないのでしょうか。

キッドワールドこども園 園長 高津 宏児

